



自然保護団体とも協定を結び加速 ぼうさいの丘公園「野鳥の池」復活プロジェクト

ぼうさいの丘公園(温水 783-1)で、野鳥の池を再生するプロジェクトを進めています。3月末には、市民団体「水辺の生き物調査隊」(諏訪部晶代表)と協定を締結。池周辺の生態系の回復に取り組みます。

1 概要

ぼうさいの丘公園内で水が汚れた池を再生させる「野鳥の池」復活プロジェクトは、温水のリスニ(小笠原利江代表取締役)と9月から進めている事業。同社が開発したナノバブルを発生させる装置を使って水中に酸素を取り込み、微生物の活動を活性化。水質を改善し、生態系の回復を目指します。

水辺の生き物調査隊とは3月27日、「生物多様性の保全及び回復によるネイチャーポジティブの実現に向けた包括連携協定」を締結。施策に反映するための生き物調査データの提供などで連携していきます。

2 目的・背景

2030年のネイチャーポジティブ実現を目指すためには、市、市民、市民団体などとの「共創」による理解促進や行動変容に向けた取り組みが必要となります。復活プロジェクトでは、民間団体が持つノウハウを活用しながら、水質の改善、生態系の回復・保全を図っていきます。

3 PRしたい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・復活プロジェクトは、リスニの申し出により無償で行われており、最近では水質の改善が見られるようになってきました。
- ・生き物調査隊とは、①水辺の生き物の調査②在来生物の生育環境の保全などで連携。ぼうさいの丘公園では、環境に悪影響を与える生物を調べ、生息が判明した場合に市と協働で駆除します。生態系や水質の改善に寄与する植物も選定し、池や周辺に植栽してもらいます。
- ・本市が同様の協定を締結したのは、同団体で6件目となります。

4 他市の状況

真鶴町が昨年6月27日、横浜国立大学や横浜銀行などと「生物多様性保全に関する連携協定」を締結しています。

本資料の問い合わせ先

環境農政部 環境政策課

課長 松永 伸介 電話 046-225-2821

プロジェクトの進ちょく

作業をするリスニの
武井廣雄さん（左）、
小笠原利江さん（右）



令和7年7月の野鳥の池



令和8年1月の野鳥の池

